

◆ 学 位	学 位 名	文学修士 大阪市立大学		
	取得方法	論文 昭和 54 年取得		
◆ 学 歴	大 学	大阪市立大学文学部人間関係学科社会学専攻 昭和 52 年卒業		
	大 学 院	大阪市立大学大学院文学研究科社会学専攻後期博士課程 昭和 60 年単位取得退学		
◆ 学 内 職 務 (令和 3 年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 図書委員</li> <li>▪</li> </ul>			
◆ 担当授業科目 (令和 3 年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 現代社会と人権</li> <li>▪ 社会学概論</li> <li>▪ 大学基礎演習 I・II</li> <li>▪ 人間福祉演習 I・II・III・IV</li> </ul>			
◆ 職務上の実績に関する事項 (資格, 免許, 特許, 等)				
▪ なし				
◆ 専門研究分野		◆ キーワード		
福祉社会学	貧困問題・差別問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 差別側の偏見</li> <li>▪ 被差別側の弱さ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 差別・被差別関係</li> <li>▪ 相互責任アプローチ</li> </ul>	
◆ 研究概要	日本とアメリカにおける差別理論の展開史			
◆ 所属学会	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 日本社会福祉学会</li> <li>▪ 日本労働社会学会</li> <li>▪ 日本社会学会</li> <li>▪ 関西社会学会</li> </ul>			
◆ 主要著書 (5 件程度)				
書名・タイトル		単/共	発行年月日	発行所, 発表雑誌等, 発表学会の名称
▪ 被差別世界と社会学		共	平成 8 年 8 月 31 日	明石書店
▪ 欧米のホームレス問題 (上) 実態と政策		共	平成 15 年 2 月 10 日	法律文化社
▪ 欧米のホームレス問題 (下) 支援の実例		共	平成 16 年 3 月 31 日	法律文化社
▪ 自己と他者の社会学		共	平成 17 年 12 月 10 日	有斐閣
▪ 都市的世界		共	平成 20 年 12 月 10 日	世界思想社
◆ 主要論文 (5 件程度)				
書名・タイトル		単/共	発行年月日	発行所, 発表雑誌等, 発表学会の名称
リベラルと保守を超えて— ▪ William. J. Wilson の人種関係論絵 をめぐって		単	平成 22 年 3 月 25 日	四天王寺大学紀要・第 49 号
藤田敬一の「両側から超える」構 想を再考する— ▪ 差別・被差別関係論の展開に向け て—		単	平成 22 年 9 月 25 日	四天王寺大学紀要・第 50 号
差別理論の収斂?—M. O. Emerson と G. Yancy の「相互責任アプロ ーチ」論をめぐって—		単	平成 24 年 3 月 20 日	四天王寺大学大学院研究論集・第 6 号
Wilson から Steele へ ▪ —アメリカ黒人の「人種的脆弱性」 をめぐって—		単	平成 30 年 9 月 25 日	四天王寺大学紀要・第 66 号

勝利の後の「停滞」— ▪ S. Steele の「ポスト公民権運動問題」をめぐって—	単	令和 1 年 9 月 25 日	四天王寺大学紀要・第 68 号
◆ その他（5 件程度）			
書名・タイトル	単/共	発行年月日	発行所, 発表雑誌等, 発表学会の名称
▪ (翻訳) アメリカのアンダークラス	共	平成 11 年 12 月 25 日	明石書店
▪ (論説) アメリカにおける「両側から超える」試み	単	平成 22 年 4 月 25 日	こべる・第 205 号、「こべる」刊行会
▪ (論説)「差別・被差別関係」論へ	単	平成 22 年 8 月 25 日	こべる・第 209 号、「こべる」刊行会
▪ (論説) アメリカにおける「両側から超える」試み (続)	単	平成 23 年 7 月 25 日	こべる・第 220 号、「こべる」刊行会
▪ (論説)「資格・立場の絶対化」はどれだけゆらいだか?	単	平成 25 年 3 月 25 日	こべる・第 240 号、「こべる」刊行会